

燕労災病院の理念

◎働く人々と、地域の人々のために最善の医療を目指します。

病院の基本方針

◎安全で質の高い医療の提供を目指します。

◎勤労者の健康管理を支援します。

◎医療に関する教育・研修を支援します。

◎地域の人々の健康を守り、福祉に寄与します。

目次:

*着任のご挨拶	1
*移乗ポジショニング研修会開催	2
*医療安全研修会開催 *編集部より	3
*外来診療科別担当医師表	4

燕ろうさいつうしん

【 着任のご挨拶 】

眼科医師 佐々木 藍季子



平成25年4月1日から眼科に赴任いたしました。新潟市出身、新潟大学卒業で、これまで下越、中越、上越の病院で勤務してきました。新潟から出たことのない、いわゆる「箱入り」です。

眼科の新規医師は全国で年々減少しており、もちろんここ新潟も例外ではありません。県内の病院も眼科常勤医を派遣できなくなったり、常勤医の定員を減らさざるを得なくなったりという状況です。

燕労災病院も、昭和58年に眼科診療を常勤医1名で開始し、平成元年には2名に増え、平成13年には3名にまで増えてきましたが、平成18年からは常勤医は1名となってしまいました。それでも、新潟大学などからの非常勤医師の協力もあり、十分な診療と手術を実施できていると思われます。

手術件数は年間、白内障は300~350件程、緑内障は20~30件程、硝子体手術は90~100件程施行しております。その他症例に応じて、まぶた関係の手術もしております。

白内障、緑内障は聞いたことのある病気だと思いますが、硝子体手術って何だろうと思う方も少なくないと思いますので、少し説明させていただきます。

硝子体とは、眼球の中身の透明なゼリー状の部分です。その手術とは、つまりは眼球の中身全般、主には網膜の病気が対象になります。代表的なものに、網膜剥離や糖尿病網膜症などがあります。特に網膜剥離は、適切な処置が遅れると失明してしまうこともある病気ですので、早めの受診をお勧めいたします。症状としては、急にひどくなった飛蚊症や視野の欠け、視力低下などです。何か気になる症状がありましたらお気軽にご相談ください。

今後も「箱入り」として、微力ながら、地域に密着した質の高い医療を提供できればと考えております。

【移乗・ポジショニング研修会開催】

平成25年11月から平成26年1月までの3か月にわたり、当院リハビリテーション科運動療法室にて、「移乗・ポジショニング研修会」を開催しました。

第1回目(11月)は、「ヒトの立ち座り動作・重心移動・移乗動作とその介助を人的方法について」、第2回目(12月)は、「スライディングシート・スライディングボードといったヒトの身体をベッド上等で滑らし事の出来る便利な道具(福祉機器)を用いて、ベッド上での移動、ベッド・車椅子間の移乗(乗り移り)」、第3回目(1月)は「移動用リフト」と題して行われました。

3回の研修会の参加者は延べ90名となりました。参加者は幾つかのグループに分けられ、意見や質問を交わしながら実技も並行されました。

参加者からは、「今後の医療現場で活かす事ができる」という声が聞かれました。

この研修会は、平成25年6月に厚生労働省から19年ぶりに「職場における腰痛予防対策指針」が改定された事をきっかけに、全国のあらゆる医療・福祉機関等で開催されているものです。

指針が改定された目的は、近年、高齢者介護等の社会福祉施設での腰痛発生件数が大幅に増加している状況を受け、適応対象を福祉・医療分野等における介護・看護作業全般に広げるとともに、腰の負担の少ない介護方法等を周知するためです。

現在、日本は福祉制度が進んだ高齢国の北欧諸国を追い抜き、世界一の超高齢国になりました。しかし、人の全面的な介助で実施されている現場が多いのが現状です。今一度、療養環境下で、福祉機器等の便利な用具を利用して、介護負担について知識を深めていく事が急務です。今後のあらゆる「労働現場の安全衛生面の改善」、「労働災害の削減計画」、「医療福祉現場での安全確保」の為に、この研修内容は、今後、全国の医療現場で実践されて行くと思われれます。



スライディングシート



スライディングボード



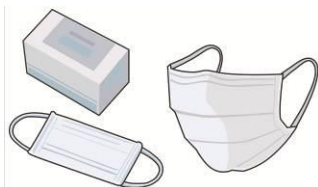
リフト

【 医療安全研修会開催 】

1月14日（火）に当院職員に向けて医療安全研修を実施しました。今回のテーマは、**抗がん剤の暴露防止対策**について「**自分の身は自分で守ろう**」についてです。オンコロジーhhcユニット 遠藤 基将 氏を講師としてお迎えしました。

抗がん剤はがんを抑制するために用いられます。しかし、治療を必要としない人が触れてしまうと健康に悪影響を及ぼしてしまいます。抗がん剤の調製時や患者様への投与時など様々な場面で医療スタッフにも健康被害を引き起こすおそれがあります。患者様の蓄尿からも抗がん剤が検出されることがあり、ますます注意が必要です。

私たち医療スタッフは、抗がん剤を取り扱うときは、手袋、マスク、ガウン、安全メガネといった防護具を使用することが推奨されています。今後も、抗がん剤を取り扱う際にはあらゆる場面を想定しながら健康被害を引き起こさないよう注意して行きたいと思えます。



【編集部より】

ついにソチオリンピック終わりましたね。何と新潟県勢から3人のメダリストが誕生しました。平野選手、清水選手、小野塚選手おめでとうございます。そして選手の皆さんお疲れ様でした。

(記：S)



燕労災病院 外来診療科別担当医師表

平成26年3月1日現在

診療科	内線	月	火	水	木	金	
内科	1診	2161	諏訪 陽子(呼吸器)	丸山 佳重(呼吸器)	鈴木(大学・呼吸器)	諏訪 陽子(呼吸器)	丸山 佳重(呼吸器)
	2診	2162	岩崎 友洋(消化器)	小方 則夫(消化器)	林 和直(消化器)	岩崎 友洋(消化器)	林 和直(消化器)
	3診	2163	樋口 渉(血液)	[新患]	[新患]	樋口 渉(血液)	[新患]
	4診	2164		黒澤 陽一(腎・透析)	廣瀬 慎太郎(腎・透析)	[新患]	廣瀬 慎太郎(腎・透析)
	5診	2165	[新患]	羽入(大学・内分泌)	安山(血液・一般)	皆川(大学・内分泌)	-
	新患		小方 則夫	樋口 渉	丸山/諏訪	安山 浩信	森山(大学)
神経内科	1診	2171	下畑(大学)	菊川 公紀	菊川 公紀	眞島 卓弥	菊川 公紀
	2診	2172	眞島 卓弥	佐藤 達哉	眞島 卓弥	佐藤 達哉	佐藤 達哉
	新患		下畑(大学)/眞島	菊川/佐藤	菊川/眞島	佐藤/眞島	菊川/佐藤
循環器内科	1診	2141	宮北 靖	五十嵐 登	宮北 靖	中村 彰	中村 彰
	2診	2142	-	[新患]	[新患]	[新患]	-
	新患			宮北 靖	中村 彰	五十嵐 登	
外科	1診	2121	森岡 伸浩	中塚 英樹	中塚 英樹	森岡 伸浩	中塚 英樹
	2診	2122	中塚 英樹	沢津橋 孝拓	清水 孝王	沢津橋 孝拓	清水 孝王
	新患		森岡/中塚	中塚/沢津橋	中塚/清水	森岡/沢津橋	中塚/清水
	ストーマ外来						第2・4週 (8:30~12:15予約のみ)
整形外科	1診	2182	幸田 久男	幸田 久男	-	間庭(大学)	金井(大学)
	2診	2183	-	植木(臨港病院)	-	幸田 久男	-
	3診	2185	-	-	-	-	-
	手の外科	2182	-	-	-	-	幸田 吉津(手の外科研究所) (第3週)
脳神経外科	1診	2221	小池 俊朗	吉田 誠一	小池 俊朗	吉田 誠一(頭痛外来)	吉田 誠一
	2診	2222	-	-	渡辺(大学)	-	-
	新患		小池 俊朗	吉田 誠一	渡辺(大学)	吉田 誠一	吉田 誠一
皮膚科	2131	加畑(大学・午前)	火曜→月曜に変更	-	下村(大学・午前)	-	
泌尿器科	2210			安藤(第2.4週) (14:00~)	金井 利雄 (予約のみ)		
眼科		2230	佐々木 藍季子(午前)	佐々木 藍季子	佐々木 藍季子	園田 日出男(午前)	佐々木 藍季子
				中枝(大学・午前)		佐々木 亮(大学・午前)	青木(大学・午前)
						佐々木 藍季子(午前)	
耳鼻咽喉科	2200	大学医師 (13:30~)	-	-	大学医師 (13:30~)	-	
リハビリテーション科	2240		真柄 彰	-	-	-	
放射線科	診断室	2972	大学医師	大学医師(午後)	大学医師(隔週)	大学医師(午後)	大学医師(午後)
	リニアック	2442	-	田中(大学・午後)	-	笹本(大学)	
	緩和ケア外来				休診		休診
リエゾン精神科	2190	須貝(大学) (14:00~)	-	-	-	-	
心臓血管外科	2120	-	-	佐藤(大学) (14:00~)	-	-	
人間ドック		-	-	小方 則夫 (一般ドック)	小方 則夫 (一般ドック)	小池 俊朗 (脳ドック)	

受付時間 8:30~11:00

○整形外科は、予約制となっております。受診の際は、他医療機関からの紹介が必要となります。

○泌尿器科の水曜日(午後診察)の受付は、15:00までとさせていただきます。

◎眼科の月曜日・水曜日の受付は、10:30までとさせていただきます。

◎眼科を初めて受診される方は、他医療機関からの紹介患者様のみとさせていただきます。

○耳鼻咽喉科は、15:30まで受け付けております。

◎担当医師変更等の場合もありますので、受診の際は予めご確認ください。

電話番号(代表)0256-64-5111